

## Gigabit Ethernet - シングルモードLC/SC光メディアコンバータ - 40km

ET1000S40LC2 / ET91000SM402

DE: Bedienungsanleitung - de.startech.com

FR: Guide de l'utilisateur - fr.startech.com

ES: Guía del usuario - es.startech.com

IT: Guida per l'uso - it.startech.com

NL: Gebruiksaanwijzing - nl.startech.com

PT: Guia do usuário - pt.startech.com

### パッケージの内容

- 1 x 光メディアコンバータ
- 1 x ユニバーサル電源アダプタ
- 4 x 電源アダプタプラグ (北米/EU/英国/オーストラリアで使用可能)
- 1 x ユーザマニュアル

### 動作環境

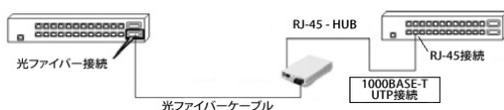
- 1000BASE-Tと互換性のあるEthernetネットワーク機器
- RJ45端子付UTP Cat5e以上のEthernetケーブル
- 1000BASE-LX/SXと互換性のある光ファイバネットワーク機器
- LC/SCターミネートッドシングルモード9/125 μm光ファイバケーブル
- 利用可能なAC電源コンセント

### インストール手順

1. ディップスイッチがお使いのネットワーク構成に対して適切に設定されていることを確認してください (詳細は「ディップスイッチの設定」セクションをご覧ください)。
2. コンピュータ / スイッチ / メディアコンバータとメディアコンバータのLCコネクタを光ファイバネットワークケーブルで接続します。

**注意:** ファイバケーブルを接続する際には、片方はTx (送信) ターミナル、反対側はRx (受信) ターミナルを接続していることを確認してください。

3. コンピュータ / スイッチとメディアコンバータのRJ45ジャックをUTP Ethernetケーブルで接続します。
4. メディアコンバータを電源アダプタに接続します。
5. 以下の例では、ハブ / スイッチの1000BASE-T Ethernetと別のハブ / スイッチの1000BASE-SX/LXポートをファイバメディアコンバータで接続する方法について説明しています。



6. 以下の例では、ハブ / スイッチの1000BASE-T Ethernetとコンピュータの1000BASE-T Ethernet ネットワークインターフェイスカード (NIC) をファイバメディアコンバータで接続する方法について説明しています。



### ET1000S40LC2 / ET91000SM402 - リアビュー

DC電源コネクタ

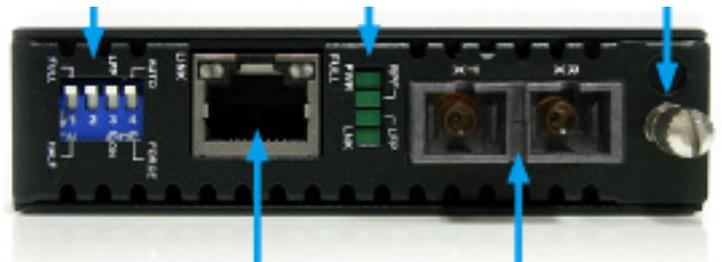


グラウンドポイント  
(オプション)

### ET91000SM402 - フロントビュー

ディップスイッチ LEDインジケータ

カード排出  
つまみ



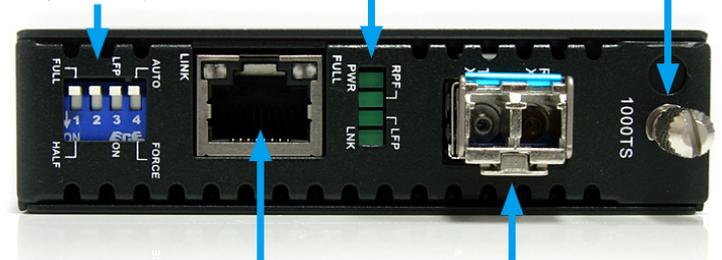
RJ45 Ethernet  
コネクタ

SCデュプレックス  
ファイバコネクタ

### ET1000S40LC2 - フロントビュー

ディップスイッチ LEDインジケータ

カード排出  
つまみ



RJ45 Ethernet  
コネクタ

LC Duplex  
ファイバコネクタ

### ディップスイッチの設定

#### フル / ハーフ:

Ethernetのデュプレックスモードはフルまたはハーフに設定されます。

#### LFP:

リンクフォルトパススルーは、ファイバ側でリンクが切断された場合、Ethernet側のリンクも切断し、その逆も行います。この機能がないと、ファイバ側にリンクがない場合でも、Ethernet側はリンクの切断がないと表示し続けてしまいます。

(オフ = 非アクティブ、オン = アクティブ)

#### オート / フォース:

オートネゴシエートデュプレックスモード、またはフォースフル / ハーフデュプレックスモード (ディップスイッチにて)。

# 動作状況LED

LED	名前	動作状況	説明
PWR	電源	オン	ユニットの電源が入っています
		オフ	ユニットの電源が切れています
RPF	リモート電力停止	オン	リモート電力停止
		オフ	リモート電力通常
LNK	ファイバリンク	オン	ファイバリンクが検出されます
		オフ	ファイバリンクが検出されません
		点滅	ファイバ動作状況
LFP	リンクフォルトパススルー (LFP)	オン	LFPモードが有効になっています
		オフ	LFPモードが無効になっています

## FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則/パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合（干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます）、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

## 商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用しますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

## 技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、[www.startech.com/support](http://www.startech.com/support) までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンライン工具、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報は [www.startech.com/downloads](http://www.startech.com/downloads) でご確認ください

## 保証に関する情報

本製品は2年間保証が付いています。

また、StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

## 責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害（直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず）、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。